

自然学習講座

テーマ：プランクトンたちの小宇宙をのぞいてみよう！

日時：令和6年11月9日(土)
13時から15時まで(雨天決行)

講師：林 紀男 氏 (千葉県立中央博物館 環境教育研究科長)

参加費：無料 定員：30人

受付開始：令和6年10月2日(水)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和6年10月14日(月)までWeb・電話で受付。(※抽選制)

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。
※ 小学生3年生以下は保護者同伴。



カイジモンコの仲間

水辺の生態系を支えるプランクトンを観察し、その役割や特性を学びます。

イベント・ガイドウォーク

第10回 かわせみフェスティバル 9月29日(日) 10時~15時

生きもの観察会やクラフト体験、カワセミが生息する他の公園の紹介や地元の施設によるポスター展示等を行います。会場は水元かわせみの里。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	金町駅南口→水元公園→金町駅南口	
	水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和6年 9月20日
(通算第210号)

威嚇はまるで線香花火！？

ウラギンシジミ

チョウ目シジミチョウ科
体長(終齢幼虫) 約20mm
時期 4~11月

おしりの方には2本の突起があり、外敵から襲われた際は、ここから線香花火の様な綿毛を出し、振り回して威嚇します。



▲頭

おしり▲

クズの花に擬態する達人

フジやクズなどのマメ科植物につき、花や蕾、新芽などを食べています。水元公園では、9月頃のクズの花序によくつき、蕾や花に似た体色で見事に擬態する様子が見られます。花や蕾の真ん中に穴を空けるように食べるので、探す際は食べ跡もヒントになります。



▲クズの花序に紛れる幼虫



▲成虫の姿。翅の裏側が銀がかった様に白いことから『裏銀小灰』(うらぎんしじみ)

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



9/10 カワセミ 8月末頃から、水元かわせみの里では毎日平均10回以上の飛来が確認されている。



9/1 アズチグモ 草花の上で、花に擬態するように隠れて獲物を待ち構える。サングラスをつけたような頭部が特徴的。



9/1 クワコ 水元公園内各所のヤマグワで、葉や枝についていた。外敵が近くと頭部を膨らませて威嚇する。



9/1 ヤマトシジミ 水元公園内各所の草地に生えているキツネノマゴを次々にまわりながら、吸蜜していた。



9/12 コノシメトンボ 小合溜周辺を飛びまわり、手に持った木の枝にもとまってきた。翅の先端が黒いのが特徴的。



9/12 ムラサキツメクサ 「クローバー」と呼ばれるシロツメクサの仲間、花が赤紫色。シロツメクサに対して草丈が高い。



9/12 ヒナタイノコツチ 茎の先端の花穂が徐々に開花してきた。シジミチョウなどの小昆虫が吸蜜に訪れる。



9/12 ヘクソカズラ ラッパ型の可愛い花を咲かせるツル植物。「サオトメカズラ(早乙女蔓)」とも呼ばれる。



9/12 キツネノマゴ 水元公園内の草地の至る所で見られる。夏～秋にかけて、花穂に1～4個ほどの花を咲かせる。

● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「生きものの名前と見立て遊び」のお話

夏～秋の水元公園の草地では、足元に視線を落とすとキツネノマゴ(9)が小さな花を咲かせています。そして、シジミチョウなど小さなチョウの仲間が吸蜜のためにキツネノマゴを訪れたりと、可愛らしい草地の風景が望めます。

ところで、「キツネノマゴ」とは、どういった由来で付いた名前なのでしょう?一説では、花のつく花穂を狐の尾に見立てて「狐」、そして小さい草であるところを「孫」と例え、「狐の孫(キツネノマゴ)」になったと言われています。

他にも、秋によく見る「猫じゃらし」は、正式和名を「エノコログサ」と言いますが、こちらは花穂を犬の尾に見立てて、元々は「いぬころ草」と呼ばれていたそうです。そして、それが転じて「狗尾草(えのころぐさ)」となったと言われています。ちなみに「猫じゃらし」という呼び方は、エノコログサで猫の首をじゃらすと喜びことから付いたそうです。

外見から名付けられた名前の由来は、まるで見立て遊びをしているようで面白いです。ぜひ皆さんも、自分なりの見立てで名前をつけてみたりしながら、秋の自然観察を楽しんでみてください。

(小林)



▲エノコログサ



ボランティア活動報告

野草園の植生調査と、施設周辺の植栽管理作業を行いました！

9月7日に野草園の植生調査と、水元かわせみの里入口付近の植栽管理作業を行いました。植生調査の結果では、様々な植物が花を咲かせ、実をつけていました。植栽管理では、来館者の皆さまに生きものを観察してもらいやすくするため、施設周辺の除草や剪定作業を行いました。



野草園で見られた植物の開花、結実、その他見られた生きものを記録します。



クサノオウなどの草花をはじめ、多くの開花・結実が見られました！



園路に伸びていたトキワサンザシの枝を剪定しました。



かわせみフェスティバルにむけて植栽を綺麗に剪定しました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 9月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

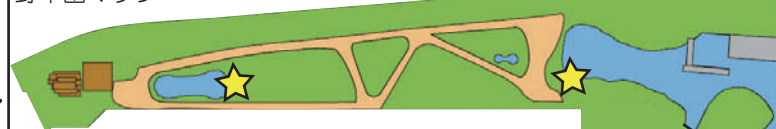
9月の見頃

アカテガニ

雑食性で、動物の死体や植物などを食べています。水元小合溜は川と繋がりのない溜池ですが、大場川の近い水元かわせみの里の野草園では、陸地を歩いて移動してきたアカテガニが暮らしています。大場川の岸边には、近縁種であるクロベンケイガニなどの巣穴も見られます。この個体は若いので茶褐色ですが、成長すると赤みが強くなる傾向があります。



野草園マップ



見られるポイントはココ！